

参加申し込み日などは、区のおしらせ(25日号)をご確認ください。

日程	イベント	会場
8月24日(木)	第60回子ども大会	けやき広場(上用賀2-3)
10月19日(木)	歩こう会	二子玉川周辺
11月11日(土)	古着・古布回収	上町管内7か所
	フードライブ	上町まちづくりセンター
11月25日(土)	上町防災塾	上町まちづくりセンター
12月中旬	冬の寄せ植え講習会	上町まちづくりセンター
12月15日(金)	ポロ市	ポロ市通り周辺
12月16日(土)		

上町地区イベント情報

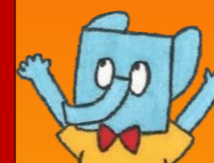
開催告知

「第60回 子ども大会」

8月24日(雨天の場合は8月25日)に、けやき広場にて、4年ぶりに「子ども大会」を開催します。「0才も100才もみんななかよし」をテーマに、ものづくり体験や体を動かす遊びができるイベントコーナーを設けています。ぜひ、ご参加ください！
主催：青少年上町地区委員会



かみぞうくん



第123号

発行日
令和5年8月1日

発行：身近なまちづくり推進協議会文化部会
事務局：上町まちづくりセンター
TEL 03-3420-4241
FAX 03-5477-7920

ふれあいひろば

ココロ

ニュース

令和5年3月末に「せたがやみどり公園」(世田谷1-11)がプチリニューアルしました。公園内の遊具が追加されるとともに、花が植えられ、子どもたちの遊び場、憩いの場としてより充実しました。また、この公園は、毎年6月と11月に開催される「上町地区古着・古布回収」の回収場所の1つとなっています。皆さんもお時間のあるときに、ぜひお立ち寄りください。



あんすこくん



- 網敷 光剛
- 立石 かほる
- 鈴木 陽子
- 奥本 美和
- 中川 トク子
- 渡邊 美保
- 高回 徹生
- 伊藤 美登里
- 金好 恵美子
- 小松 正佳
- 椎谷 恵子
- 編集委員

5月の日赤社資募集では、皆様から温かいご協力をいただき誠にありがとうございました。
日赤奉仕団上町分団

健康体操教室

令和5年2月5日(日)上町まちづくりセンターにて、世田谷区の地区イベントで初となるシットピクス®トレーニングを実施しました。今回は「肌をきれいに」をテーマに、白井ヨシ講師の指導のもと、座学と、イスがあればできるストレッチを行いました。参加者の皆様から「楽しくて、あっという間に終了時間になってしまった!」「継続して開催してほしい!」とたくさんのご満足の声をいただきました。今年度も健康体操教室を開催します。ぜひご参加ください。



白井 ヨシ (シットピクス®トレーナー・駒沢 SHIRO GYM マネージャー)
シットピクス®トレーニングを発案、実施しています。「イスがあれば、どこでも・誰でもトレーニング」をコンセプトに現在は、東京農業大学、神奈川大学、湘南や石垣島など様々な場所で活躍しています。

シットピクス®トレーニング

代官ホタルン



上町まちづくりセンター 検索

区HPではミニコミ紙をはじめ、地区イベントなど様々な情報を掲載しています。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12

モルック

フィンランドで生まれた「モルック」という競技を昨年1月、長男の嫁から「絶対やったほうがいい!」と勧められ、始めました。投げた後、互いに「うまい!」「おいしい!」など声を掛け合うことで、気分良く楽しめます。子どもから高齢者まで仲良くお付き合いできるのが嬉しいです。「モルック」を通して、輪を広げていけたらいいなと思っています。競技の基本的な流れは①~③のとおりです。
①1~12の番号付きのスキttlに向けて、3.5m離れたところからモルック棒を投げる。このときは必ず下手投げ。(主催者が許可した投てき方法は可能)
②1本だけ倒れたときは、スキttlの番号が得点になり、2本以上倒れたときは、倒れたスキttlの本数が得点になる。
③最初に50点ぴったりになった人が勝者となる。なお51点以上になった場合は、25点に戻され、ゲームが続く。(松丘町会 Y・H)

10月22日(日)13:30~
桜小学校で「モルック体験会」を開催予定です!ぜひご参加ください。(申し込み不要)



写真の出典: 松丘町会HP

CLOSED



松丘町会 モルック 検索

上の二次元コードを読み取ると、モルックをプレイしている様子が動画で見られます。
※掲載動画: Youtube

自転車の安全を考える

歩行者に目を配って乗ろう

今、自転車の乗り方について注意が呼びかけられています。

もう20年も前になりますが、恩師が事故にまきこまれ、一生が暗転したことはいまわしい思い出です。

朝、グループでウォーキング中、その列に中学生の自転車が突っ込み、恩師は足をすくわれ、宙返りし頭を打ちました。脳幹が損傷し正常な生活は失われました。

お見舞いの電話にご主人は「残念だ」という言葉を口にしました。ほんの一瞬の不注意が一人の将来を無にしてしまったことへの悔やみとも思いました。

自転車は、便利な乗り物であっても、危険をも含んでいることを一歩止まって考えたいものです。

(松丘町会 M・K)

自転車教室

1月25日、自転車事故防止および交通ルール再確認のための文化部会員向け「自転車教室」に参加しました。

自転車用ヘルメットの着用

改正道路交通法の施行により、自転車を運転するすべての人のヘルメット着用が努力義務になりました。また、同乗者にもヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。さらに、児童や幼児を保護する責任がある人は、児童や幼児が自転車を運転する際に、ヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。

加えて、世田谷区では、13歳未満の児童の保護者に対して、その児童が道路で自転車を利用するときに、ヘルメットを着用させることを定めています。

■世田谷区自転車条例 第5条

第6項 13歳未満の児童の保護者は、当該児童が道路において自転車を利用するときは、自転車乗車用ヘルメットを着用させなければならない。



左の二次元コードを読み取ると詳細を確認できます。リンク先：警視庁



普通自転車の歩道通行

普通自転車は軽車両です。車道の左側端を通行しなければなりません。しかし、次の場合は例外として歩道を通行できます。

- ① 普通自転車歩道通行可の道路標識等がある場合。
- ② 運転者が13歳未満、70歳以上、または身体が不自由な人の場合。
- ③ 安全確保のために、やむを得ないと認められる場合。



▲普通自転車歩道通行可の標識。



左の二次元コードから自転車の交差点をリンク先：警視庁

自転車保険への加入義務

令和2年4月に改正された「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」(27条)により、自転車損害賠償保険等への加入が義務化されています。

自転車損害賠償保険等とは自転車の利用によって生じた他人の生命または身体の損害を賠償する保険や共済です。自転車事故で他人にケガをさせると、高額な賠償金が掛かることがあります。賠償は被害者の事故後の生活を支え、かつ、加害者の負担を軽減し生活を維持するために重要なものです。賠償に備えるため、自転車保険に入りましょう。

自転車保険

東京都では、令和2年4月より、自転車保険の加入が義務化されました。我が家では自動車保険に加入して自転車も補償が付いていたので、それで大丈夫だと思っていました。が、免許返納と共に自動車保険も解約となり、自転車の保険もなくなっていました。じゃあ、自転車保

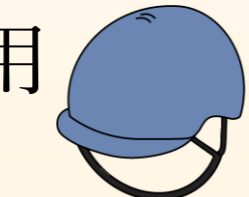
ルールを守ろう

自転車は車道が原則で、歩道では歩行者優先で車道寄りを行行しなければなりません。

朝、登校の見守りをしていまして、信号無視をして、クラクションを鳴らされても平気で通る方を何人か見かけます。

縦横無尽に通行するので人や自転車同士がぶつかりそうになりとても心配です。

自転車は便利な乗り物ですが、ときには凶器にもなる危険なものです。ひとりひとりが、ルールを守ってスピードの出し過ぎに気をつけていただきたいと思います。



ヘルメット着用努力義務化に

ヘルメットは出先で持ち歩くのに邪魔だし髪型も崩れてしまうので個人的には嫌ですが、自転車事故で死亡した人の約7割が頭部に致命傷を負っていることも事実です。死亡事故が減少する可能性があるなら試してみる価値があるかもしれせん。

(弦巻町会 K・S)

自転車事故

身近な移動手段として欠かせない自転車。最近では自転車事故が多発しています。

家庭でボール遊びに使われていたボールが道路に飛び出し、

険をと思いましたが、民間の保険もいろいろあり、どこまでの補償が必要なのか迷っています。

義務化とはいえ、確認もされないのが積極的になれずいます。

(世田谷東町会 K・T)

そのボールを避けようと、自転車に乗った高齢の男性が死亡。片手にスマホ、もう片手に飲み物を持ち、電動自転車に乗った女子大生に通りかかった高齢の女性がはねられ死亡。いずれも高額な賠償金が発生したことを報道で知り、やりきれない気持ちになりました。

また、大人のヘルメット着用が努力義務化されました。出会い頭の事故が多く、ヘルメットを着用していれば被害を軽減できるそうです。女性用のおしゃれで求めやすい価格のヘルメットの普及を期待します。

(世田谷上町町会 Y・S)

あじぎ

4月に女子高校野球の練習試合を見に行く機会がありました。球場内に行くと、選手全員が初対面の私に「こんにちは」と挨拶をしてくれました。笑顔で明るい挨拶に、私も自然と元氣よく挨拶を返しました。町内でも普段から自然体で挨拶を交わしていきたいものです。そうすれば、災害時にも、お互い助け合える町になると思います。普段の何気ない挨拶から助け合いの気持ち広がってほしいですね。

(桜町会 T・T)